

基本構想案に対する各委員の意見及び対応表(案)

資料2

番号	委員名	分野	頁	内容	対応案(事務局案)
1	細江委員	健康づくり	3	・「こころの病気の偏見」と表現すること自体に課題は無いが、ノーマライゼーションとかインテグレーションという概念が一般化される中で、こうした「偏見をなくし、市民が理解を深めます」の表現は再考の必要があるのではないか。	・「こころの病気の偏見をなくし、」 「こころの病気への、」
2	金子委員	健康づくり	3	家族など関係者への相談支援も努めます。	・家族などの関係者は、一人ひとりにあった相談支援に包含されていると考えております。
3	細江委員	地域医療	5	・地域実績型の地域の範囲並びにその概念について教えていただきたい。 私は人口減少、医療高度化への要求、あえて言う効率的医療の環境からすれば、広域機能連携化を模索する必要はないか。 ・更に3.経営健全化でうたわれている「病院の経営健全化」とP4に言う不採算分野を担うこととの関連が判り難い。“不採算分野 地域実績 経営の健全化”の口ジックが明示されていないのではないか。	・「地域完結型の」「広域連携による」 ・公立病院であるため、多様な診療科目の設置を担うことを踏まえ、健全化を考えていきます。
4	土屋委員	地域医療	5	・今の市民病院の体質では絵に描いた餅のような気がする。 ・入院して3日か4日で退院をしていただきます ・家で看護できなかったら他院を探してほしい。まだ完治するか分からないのに他院のあてもないのに改善すべきです。	・今後とも地域連携事業を推進することで、他の医療機関や介護施設等との連携を強化していきます。

番号	委員名	分野	頁	内容	対応案(事務局案)
5	大向委員	地域医療	5	・蒲郡市民病院改革プランに基づき、「予防、保健、検診事業の実施等」を追加。 ・最後に周辺に看護師養成大学の設置があり蒲郡市が看護師養成をしなければならないか討を要する。	・経営を効率的な運用を図るため、今後検討をしていく課題と認識しております。 ・市民病院における看護体制を維持していくためにも、看護師の充実が必要であると考えております。
6	大竹委員	子育て支援	7	・折角、母子・父子ともに配慮し、ひとり親と明記しているのに 母子家庭、削除。	・現在実施中の事業であるため、そのまま記載します。
7	大向委員	子育て支援	7	・「地域社会と協力しながら社会全体で子育てを支えます」に訂正。 ・主な取り組みに追加「地域のボランティアと協働した児童クラブの充実。」	・「地域社会と協力しながら社会全体で子育てを支えます」と訂正。 ・1地域における子育てサービスの充実 主な取組に「地域のボランティアと協働した児童クラブの充実」を追加。
8	金子委員	子育て支援	7	・今回の事件を意識し、専門家の育成やシステムの充実を図る。 ・広域による専門機関との連携など。	・「関係機関や広域的な専門機関と連携し、…」と追記。
9	細江委員	高齢者支援	8	・高齢化の進度と予測する中で母数を10年後80,000人に設定したことの意味するものは何か。悲観的に捉えれば更なる将来は急激な人口自然減になることも考えられるのであり、ここをどう説明するのか考えておく必要があるはしないか。	・生きがいづくり、健康づくり等の施策を展開することで、別途お示した人口構成を目指します。
10	大竹委員	高齢者支援	9	・生きがいセンターは既に十二分に充実、活用されています。 生きがいセンターの充実・活用、削除	・ご指摘のとおり、現在でも十分に活用されております。今後も充実と活用をしていきます。

番号	委員名	分野	頁	内容	対応案(事務局案)
11	金子委員	障害者支援	11	・各セクター 関係者のスキルアップの実施	・主な取組 蒲郡市障がい者支援センターの充実で取組んでいきたいと考えております。
12	細江委員	農林業	19	・農村集落における同質性を疎外(借り手と貸し手/土地保有者と土地提供者)する可能性の大きい中で他では地域コミュニティの育成をうたっているが、それは十分に論理性のあることか。	・農業従事者での相互支援などは、現在でも行われており、コミュニティは維持されています。
13	大向委員	農林業	19	・後継者や新たな担い手育成のため農業共同組合等を入れる。 ・新しく5項目目を追加する。 5.新しい農業 「無加温ハウスや観光農業」を記載する。	・農業協同組合が中心となって、という記述に包含されていると考えております。 ・第六次産業の推進に包含されていると考えております。
14	金子委員	農林業	19	・団塊の世代対策として、ボランティアなどの生きがいだけではなく、第2の人生のチャレンジとしての、セミプロ的な関わりの模索。	・2遊休農地・耕作放棄地の解消と担い手育成において、包含していると考えております。
15	土屋委員	水産業	23	・買い求めた方々が商売の衰退と高齢化して活用ができなくなっている、埋め立て当時と用途に無理がある、少しも早く用途変更をお願いします。	・漁港用途区域の中で、土地利用における規制の緩和を図ることで、漁業関係者の生活支援及び地元経済の活性化を図っていきます。
16	山本委員	水産業	23	・主な取組で環境整備の具体的施策を載せるべきだ。 1.海浜清掃・海底の不法投棄物除去。(マンガン漁で網に入った空き缶等のゴミが再度海に捨てられているのを改善する)	・環境保全のうち、3水質浄化対策の推進、4環境美化活動に位置づけを行っています。
17	金子委員	水産業	23	・団塊の世代対策として、ボランティアなどの生きがいだけではなく、第2の人生のチャレンジとしての、セミプロ的な関わりの模索。	・4後継者の育成支援において、包含していると考えております。

番号	委員名	分野	頁	内容	対応案(事務局案)
18	大向委員	工業	25	・中小企業団地の造成を追加。 ・中小企業...後継者等の人材育成を追加。	・3工業 1工業基盤の整備に包含されていると考えております。 ・「...新たな技術の習得を図ることで、人材を育成していくとともに、...」と追記。
19	大向委員	商業・サービス業	27	・モデル地域を設定し、空き店舗の解消をはかる。	・今後、実施計画等での対応を考えていきます。
20	金子委員	商業・サービス業	27	・商店街の環境整備として求められる、駐車場整備への支援。	・4商店街活動支援 主な取組 「商店街駐車場整備支援の検討」を追記。
21	山本委員	新産業	29	・資金援助について主な取組みで具体的に表示する必要があるのでは。	・企業立地した企業等への奨励金制度を平成22年度まで実施しています。工業用地が確保が見込まれた段階で、実施計画等での対応を考えております。
22	遠山委員	観光	30	「将来の姿」、現状の課題へ「ニューツーリズムに対応した観光地づくり」を追加記載。	・現状と課題に、説明の記述を加えます。
23	遠山委員	観光	30	・ニューツーリズムの中では、特に、エコツーリズム(環境)、ヘルスツーリズム(健康)、ブルーツーリズム(三河湾)、ロングステイ(滞在型観光地)をテーマに観光基盤の整備を計っていきます。 (・マスメディアによる観光情報発信.....はカットする) 現状と課題へニューツーリズムの追加記載	現状と課題 ・「ニューツーリズムへの需要が高まる中、、エコツーリズム(環境)、ヘルスツーリズム(健康)、ブルーツーリズム(三河湾)、ロングステイ(滞在型観光地)をテーマに観光基盤の整備をが求められています。」の追記。
24	金子委員	観光	30	・観光という切り口による、まちづくり展開を市民との連携による実践。	・歴史的文化遺産などを市民による保護、観光ボランティア活動などが、観光資源として活かされることから、観光と連携したまちづくりを実践していると考えております。

番号	委員名	分野	頁	内容	対応案(事務局案)
25	遠山委員	観光	31	<p>・エコツーリズムに対応するために旅館・施設から出る食品残渣のリデュース・リサイクル・リユース(3R)に積極的に取り組んでいきます。</p> <p>・...ウォーキング等のコース及びグラウンドゴルフ場の整備をして、ヘルスツーリズムの観光地を目指します。 追加記載</p>	<p>・「5循環型社会形成」施策の内容「資源循環型社会の構築」において対応しています。</p> <p>・「ウォーキングコース、サイクリングコース、ノルディックウォーキングコースを整備し、」</p> <p>「ウォーキング、ノルディックウォーキング及びグラウンドゴルフ場の整備し、」</p>
26	遠山委員	観光	31	<p>・地産地消を推進すると共に、地場産業の活性化に努めます。 (歴史的文化遺産などの保護.....はカットする) 追加、削除</p>	<p>・「<u>地産地消を推進</u>することで地場産業の活性化に努めるとともに、・・・」に追加</p> <p>・文化歴史観光などが考えられるため、そのまま記載します。</p>
27	遠山委員	観光	31	<p>・蒲都市観光ビジョン(平成22年度～26年度)が正当。</p>	<p>平成22年3月に策定され、事業計画年度は記述のとおりです。</p>
28	山本委員	観光	31	<p>・友好都市として提携している浦添市以外に長野・山梨・岐阜・滋賀(海のない県)で友好都市契約を結び交流人口増加を図ってはどうか。 (浦添市との友好関係はそろそろ検討する時期に来ていると思う。)</p>	<p>・友好都市に関わらず、観光交流立市宣言をした本市では、交流人口の増加を図ります。</p> <p>・平成23年度は浦添市と友好30年の節目にあたり、今後とも交流することが期待されます。</p>

番号	委員名	分野	頁	内容	対応案(事務局案)
29	大向委員	観光	31	<ul style="list-style-type: none"> ・1観光資源の整備・充実に、グラウンドゴルフを追記。 ・観光協会の法人化を追記 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ウォーキングコース、サイクリングコース、ノルディックウォーキングコースを整備し、」 「ウォーキング、ノルディックウォーキング及びグラウンドゴルフ場の整備し、」 ・主な取組に「観光協会の法人化の検討」を追加。
30	大向委員	競艇	36	<ul style="list-style-type: none"> ・全面リニューアル中止、耐震工事に限定。 ・競艇と連携すると観光業会のイメージダウンになる。 ・「家族で楽しめるアミューズメント施設」を記載から外す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の競艇施設は耐震化が必要であるとともに、コンパクト化に施設改善を行い、運用の効率化を図っていきます。 ・観光との連携を図ることで、相乗効果があると期待しております。
31	細江委員	雇用	38	<ul style="list-style-type: none"> ・労働生産性 = 産出量 / 労働コスト、であるとすればワーキングプアをはじめ雇用確保は、この概念とは全く逆にならないといけないのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「労働生産性の向上を図る」を削除。
32	細江委員	道路	44	<ul style="list-style-type: none"> ・「新しい公共」に開放することは必要でしょうか、純粹絶対的に公共財たる道路維持管理まで広げるのでしょうか。生産経済範囲の最右翼に道路はある様な気がしますがどうでしょうか。更には責任追求上民間で耐えられるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の植栽、街路樹などへの美化活動を目的としたアダプトプログラム制度を想定しています。
33	土屋委員	道路	45	<ul style="list-style-type: none"> ・蒲郡市から岡崎市へ向けて473号の道路線形はつづら折れで、特に鉢地坂トンネルは大型車両の通行に支障をきたしており、現道の拡幅は不可能なためバイパスルートの事業促進に努め新東名高速道路に接続させる必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市間移動には、国道473号などの基幹ネットワークの形成が必要不可欠です。」と追加。
34	山本委員	道路	45	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の根元や木と木の間にツツジ等が植えられているが撤去して歩道空間を広げてはどうか。人と自転車のすれちがいし易いことや雑草が生い茂ったりしていることも多く。又、刈り込みなどの費用が軽減され、交通の邪魔にもならない。特に通学路となっている道路は撤去したらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員2.5m以上の広い歩道には、道路構造令により植樹帯を設けなければならないとあります。

番号	委員名	分野	頁	内容	対応案(事務局案)
35	大向委員	公共交通	47	・地域公共交通総合連携計画の策定 ・コミュニティバス導入の検討 ・名鉄西尾・蒲郡線の必要性を沿線自治体の住民の後に「蒲郡市民」を入れる。	・コミュニティバス導入については、議論を踏まえながら実施計画にて対応を考えています。 ・沿線住民に蒲郡市民は含まれます。
36	細江委員	住宅	50	・くどくなりますが、人口80,000人との関連をどの様に説明されるのか、また市民はそれをどう解釈しておけば良いかなど、詳しく聴かせていただきたいと思ひます。	・世帯分離が進むことへの対応や、産業の育成や雇用の確保、教育環境の充実による出生率の向上や人口流入、定住化に対処するため、住宅供給の推進を図ることで、安定した住宅供給を目指しています。
37	和泉会長	住宅	50	・都心居住について触れることができないか。	・2優良な住宅供給 定住環境に優れた住宅の誘導、の中で駅周辺マンション等へ含まれます。
38	土屋委員	住宅	51	・東三河5市で一番少ない市営住宅の建設したら高層化による良質な住環境の整備と高齢者向け公共住宅建設をしたらどうか。	・財政状況を踏まえ、実施計画において対応を検討していきます。
39	和泉会長	都市景観	53	・景観計画の策定と景観条例の制定 景観条例の制定と景観計画の策定 (歴史的な流れをみても最初に作られたのは景観条例)	・「景観計画の策定と景観条例の制定」 「景観条例の制定と景観計画の策定」
40	大向委員	港湾・海岸	55	・ラグーナ蒲郡戸別荘地の整備支援はしない。整備の検討にする。	・「ラグーナ蒲郡個別別荘の整備支援」 「ラグーナ蒲郡個別別荘の整備の検討」
41	和泉会長	防災	62	・BCP、LCPについて触れた方がいいのでは) BCP: Business Continuity Preparedness LCP: Life Continuity Preparedness	・別途、説明欄を設けます。

番号	委員名	分野	頁	内容	対応案(事務局案)
42	和泉会長	公園・緑地	71	・公園と緑地の相違は？内容は公園だけ	<p>・緑地とは、交通や建物など特定の用途に占有されない空地を目的とした土地であり、公園は緑地の一形態で、施設整備が必要としたものと、規制による維持を行うものがあります。</p> <p>・「身近な公園づくり」</p> <p>「身近な公園、緑地づくり」</p> <p>・「…土地区画整理事業に伴い計画されている公園…」</p> <p>「…土地区画整理事業に伴い計画されている公園、緑地…」</p>
43	和泉会長	自然保護・緑化	72	・里山の育成を加える。農業との関連から重要	・農林業への位置づけのほか、自然保護・緑化、環境保全及び生涯学習へ里山の保全、育成、保護を位置づけてあります。
44	山本委員	自然保護・緑化	72	・自然保護・緑化で緑の基本計画による緑化推進を進める中で民有地緑化を期待しているのに緑化面積を緩和する施策は矛盾することであると思う。	・工業地帯の規制緩和については、企業立地促進法に基づき産業振興を目的としたものであり、工業専用地域に限定されたものです。住宅地などの市民の居住ゾーンについては、今後も緑化を推進していきたいと考えております。
45	和泉会長	環境保全	75	・典型7公害以外に生活型公害もあり、重要度が増してくるのは生活型公害。(不法投棄は、廃棄物のところで触れるのがいいのでは)	・近年、市内山間部や道路脇に不法投棄が多発している。不法投棄は、環境保全の必要性のもと、ここへ位置づけしていきたいと考えています。
46	金子委員	環境保全	75	・産業廃棄物の不法投棄など市民の監視協力への啓発および、通報システムの構築。	・2不法投棄防止対策の推進に記述されています。
47	大向委員	地球温暖化対策	83	・蒲郡独自の提案は。	・プラスチック製容器の包装事業など、他市にはない事業を推進していきます。

番号	委員名	分野	頁	内容	対応案(事務局案)
48	和泉会長	水資源	85	・下水の再利用については。	・中水としての位置づけが第三次総合計画にあり、公共施設での活用をしていましたが、大量に使用した競艇は施設改善に伴い利用しなくなるため、必要性が薄れております。
49	和泉会長	下水道	87	・下水道計画には市街化調整区域にも計画があるのか。(三谷温泉地区にはすでに下水道が開設されているのか)	・市外街調整区域には基本的に下水道計画はありません。しかし、三谷地区は温泉地でもあって、特別に計画がされています。三谷地区は下水道の管の整備は終了していますが、各家庭が接続していないため、このような記述になります。
50	金子委員	下水道	87	・下水道整備地区以外の合併浄化槽整備	・環境保全3水質浄化対策の推進に記述されています。
51	細江委員	学校教育	90	・人間存在、社会構成上の大前提たるものが失われつつあると表現されていますが本当でしょうか。仮にそうであるとしたとき、それは学校教育という範囲で考え、捉えるべきことなのか、あるいは地域・家庭教育も含め、まさしく道徳規範の問題にまでなるものではないでしょうか？十分な説明が出来る自信があれば宜しいでしょうが、そうでないとすれば表現上一考を要するのではないかと考えます。 ・こうした表現は社会全体が崩れていくことを意味していると思います。現実はそのままでひどいものなのでしょうか。	・「…規範意識」などがうしなわれつつあります。 ・「…規範意識」すらも問題となっています。
52	大竹委員	学校教育	91	・子供の愛を育むのは家庭づくりから。 親子教室、父母教室の充実、追加	1 子どもの夢をはぐくむ教育の推進 主な取組 ・「親子教室、父母教室の充実」の追記。
53	大向委員	学校教育	91	・少人数学級や二学期制についての表現がない。	・現状と課題に記述されています。
54	金子委員	学校教育	91	・外国人児童が、一般教室で授業を受けられるようにするための一時的な統一ルールレクチャー環境整備。	4 国籍などに関わりなく住みよいまちづくり 主な取組 ・「アフタースクール」の追記。

番号	委員名	分野	頁	内容	対応案(事務局案)
55	大向委員	生涯学習	95	・「蒲郡まちづくり大学」まちづくりの人材育成。	・市民協働 1市民協働の担い手づくりに含まれていると考えています。
56	和泉会長	文化・芸術	96	・図書館の活用にも触れる	・主な取組に、「図書館の活用」を追記。
57	大向委員	スポーツ	99	・グラウンドゴルフについての記載がない。	・「マリンスポーツやグランドゴルフなどの普及に努めます。」と追記。
58	細江委員	市民協働	102	・協働・共同・協同、更にはワーカーズコレクティブなどを含めてアソーシエーションやコミュニティーがネットワークか、協働という概念について全く知識がありませんので教えて下さい。	・協働とは、まちづくりを進めていくにあたり、行政だけまたは、市民だけで解決できない場合、お互いに協力し補完しあうことで課題を解決していくことを目的としています。
59	和泉会長	市民協働	103	・市民提案制度は、都市計画においては法で定められているので、それについても触れた方がよい。	・市民提案制度は、都市計画に定められてスタートした事業ではなく、あらゆる行政活動のほか、市民活動へのきっかけとし、市民協働を促すものとして制度化されたので、狭義の意味と捉えられかねる恐れがあるので、そのままといたします。
60	大向委員	市民協働	103	・どのようにして担い手づくりをするのか。「蒲郡まちづくり大学」	・市民協働 1市民協働の担い手づくりに含まれていると考えています。
61	金子委員	市民協働	103	・市民も支えるまちづくりを展開するため、基金の充実を図る目的として寄付システムによる市民が支える仕組みづくり。 ・市民活動や事業などへの関わりとして、行政や市民団体による相互評価制度の環境整備。	・2市民、事業者と行政の連携強化 主な取組 「まちづくり基金の充実」を追記 (市民、事業者等による寄付の受け入れ体制を充実していく。) ・協働のまちづくりがより推進するために、行政や市民団体による相互評価制度の環境整備を図ります。」を追記。
62	山本委員	地域コミュニティ	105	・主な取組で地域ふれあい活動事業内容に自主防訓練活動も入れてほしい。	主な取組・地域ふれあい活動事業 ・「自主防災訓練活動、清掃活動やスポーツなどのイベントを通じて、…」と追記。

番号	委員名	分野	頁	内容	対応案(事務局案)
63	細江委員	多文化共生	109	・「プレスクール」に併せて「アフタースクール」の開講などが必要ではないかと思いますがいかがでしょうか。殊にアフタースクールは多くのマンパワーを必要とする訳であり、ここに団塊の世代の活用もある様な気がします。	4 国籍などに関わりなく住みよいまちづくり 主な取組 ・「アフタースクール」の追記。
64	和泉会長	地域情報化	111	・情報の安全性について触れる。個人情報保護法も含めて	1 行政サービスの情報化推進 ・「行政の効率化を推進するためにも、個人情報保護対策を一層強化していきます。」と追記。
65	山本委員	行政	118	・市会議員の定数について(この項目では?) 次期改選期に2名減の予定だが、更に減員を検討すべきかと思います。(新城市は18名で当市より2名減員)	・平成22年6月議会において、定数削減が市議会で議決されたところです。
66	和泉会長	行政	119	・行政改革の継続的推進に触れ、PDCAサイクルを回すことにも触れる	1 行政運営 事務事業の再編・整理 ・「…自由度の拡大に伴い、行政改革を引き続き実施し、PDCAサイクルを行うことで、事業の継続性に評価をしていくとともに、…」と追加。
67	大向委員	行政	119	・「事業仕分け」の記載がない。	・8行政 行政運営 事務事業の再編・整理に包含されていると考えています。
68	大向委員	財政	123	・競艇事業の収益増加は改修により達成はできない。	・施設改修を実施することで、運用の効率化が図られるとともに、新しいファン層の拡大が期待されます。
69	細江委員	財政	129	・応能負担 応益負担 受益者負担ということが一般的と思うのですが、その議論のないまま受益者負担の適正化は、更には『受益者負担の原則』を強く打ち出されることは、少しひっかかるものがあります。多少ラジカルに言えば、では“公共”とか“国家”、“行政”とは何かということになりはしないでしょうか。だから、順番があるような気がしますでしょうか。	・特定な人が必要な公共サービスを享受する場合には、受益者負担は適当であると考えております。